



第5号

港北区体育指導委員  
連絡協議会広報紙

# 汗の生み出す指

KOHOKU

No. 5

平成10年3月16日発行

発行者  
港北区体育指導委員連絡協議会

編集  
港北区体指協広報委員会

事務局  
港北区大豆戸町26-1  
港北区役所地域振興課内  
☎ 045-540-2240  
FAX 045-540-2245



前回優勝の新羽トマトチームが力強く選手宣誓



熱戦の続いた午後のトーナメント戦

## 第2回 ペタンク大会を開催

港北区体育指導委員連絡協議会  
ペタンク委員長 小形 昭一

平成9年11月3日(祝), 晴天のもと2回目の港北区ペタンク大会が横浜ラポールグラウンド(区内鳥山町)にて開催されました。区内13地区から選出の52チームに加えて一般参加が5チーム, 計57チーム(昨年比2チーム増)総勢171名の参加を得て, 昨年にも増して盛大な大会にすることができました。

今大会は, 午前中に16ブロックに分かれて予選を行い, 勝ち数の多いチームが午後の決勝トーナメントへ進出するという方法で大会を実施しました。

試合が進むにつれて, 会場は一喜一憂の歓声と溜め息に包まれ, 熱戦の数々が繰り広げられました。

今大会の決勝トーナメント進出チームは, 昨年とは殆どが入れかわり, 昨年ベスト4の全チームが予選落ちと, 波乱の展開。これも各チームが昨年来それぞれに, 来年こそはと頑張った成果だと思っております。

第2回優勝の栄冠には, 樽町Aチームが輝きました。

今後とも, 誰にでも手軽に楽しむことのできる生涯スポーツとして, ペタンクの普及活動にご理解・ご協力をいただけますよう, よろしく願いいたします。

### ◆ペタンク競技とは…

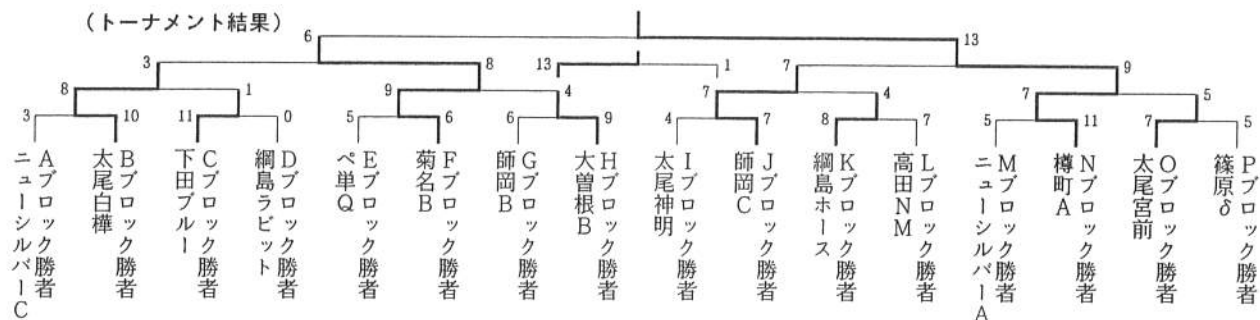
ペタンクとは, 木製の小さな目的球(ビュット)に金属性のボール(重さ650~800g)を投げあい, 目的球により近づけることによって得点を競うスポーツです。本場・フランスでは, 公園などで社会的スポーツとして楽しまれています。とくに大きな力はいらないため, 高齢者や身障者の方も楽しむことができるのが特長です。港北区体育指導委員連絡協議会では, ヨコハマさわやかスポーツとして昭和62年から普及活動を進めております。

### ◆港北区ペタンク大会に優勝して

平成9年文化の日, 思いがけずの優勝カップ。港北区からの樽町地区へのプレゼント(?), ラッキーとしか思えない私達三人の心境。オリンピックばかりがスポーツじゃない, みんなでプレーできるさわやかスポーツでいろいろな人々と交流を広げたいと思います。

(樽町Aチーム 佐藤朝之助)

(トーナメント結果)



## 体育指導委員研修会を開催

去る12月13日(土)、港北区体育指導委員連絡協議会主催で平成9年度体育指導委員研修会を港北区役所にて開催し、区内約50人の体育指導委員の参加を得ました。

今年度のテーマは、『スポーツの安全管理』でした。スポーツの指導に携わる以上、安全管理に関する知識も

今や必須の感があります。そこで今回は、神奈川県体育協会事務局長の木村軍司様に講師をお願いしました。

研修会は、スポーツの安全管理に係る責任の問題を、関連法規や保険に関する過去の事故の事例研究を中心にして行われ、講義後は熱心な質疑応答も行われました。

講義終了後は懇親会を開催。来るかながわ・ゆめ国体に向けた情報交換なども行い、散会しました。

## ◆ボランティア事故共済の問題について

上記の研修会でも問題となった、(財)神奈川県青少年協会の神奈川県ボランティア事故共済について、引受保険会社他関係各位より回答が示されました。

表は、港北体指で加入しているボランティア事故共済の補償範囲を示したものです。この表から、ボランティア共済に体指が加入した場合、以下のような問題点が生じると考えられます。

① スポーツの技術指導者(専らスポーツの技術指導者をする者)は加入対象外としている点。

② 被保険者自身が自らのために競技会に参加した場合の事故は、補償の対象外としている点。

一方、スポーツ安全保険は、最初から体育の指導者を加入の対象としており、体育に係る補償範囲と補償金額がより幅の広いものとなっています。

なお、今後ボランティア共済では、スポーツ関係者に対する補償範囲の見直しを予定しているとのことであり、平成11年度以降については、現在とは異なる内容の加入対象者及び補償となる可能性があります。

神奈川県ボランティア事故共済の補償内容

	対象になる場合
傷害給付金	ケガのため事故の日から180日以内に不幸にして死亡した場合
	ケガのため事故の日から180日以内に身体の一部を失ったり、その機能に重大な障害が永久に残った場合
	ケガのため通院または入院して医師の治療を受けた場合
	入院したうえ、病院または診療所で手術を受けた場合
損害賠償給付金	指導、監督上の過失により第三者の身体または財物に損害を与え法律上の賠償責任を負った場合
見舞金	傷害・損害賠償給付金の対象とならないボランティア活動中の事故で、特に青少年協会が認定した場合

## 県体指女性研修会に参加

平成10年1月17日(土)、大和市上草柳の大和スポーツセンターにおいて神奈川県体育指導委員連合会主催の「女性研修会」に港北区の代表として日吉地区より近江こと、薄井久子の2名で参加しました。

当日は大雪の残る悪路の中、各地より参加された140名の仲間と共に受講。

年齢構成は30~40代の方が多く見受けられました。

研修の内容は、主にストレッチ体操の理論と方法、その効果。実技も受けて、学生に戻った気分でした。

受講後の感想としては、

- (1) 研修の時期は春先か秋口が望ましい(その理由…あまり寒すぎて身体の動きがぎこちない)。
- (2) 全体の反省会を実施したが、質問のあったところに講師が説明に行くのでほとんど聞こえない(ブロックごとに対応してくれたらと思いますし、胸に名札の着用もあってよかったのでは)。
- (3) 他の市町村の方々と仲間になり、共通の話題があったりで楽しかった。

近年女性の活動がめざましく、男性に負けないくらい力をつけてきていると思いました。今回の受講を期に、色々な研修に参加し、研鑽をおこたることなく地域の発展と青少年育成に情熱を燃やそうとはからずも決心した次第です。(近江 こと)

## 地区活動紹介コーナー

港北区体指協の活動は、13の地区を基盤として行われています。このコーナーでは、各地区の活動を紹介していきます。

### 〈太尾地区〉

太尾地区は、鶴見川・太尾公園・緑道・大倉山梅林等、港北区内でも有数の自然環境に恵まれたすばらしい地域です。太尾地区は各種スポーツに関心が高く、インディアアカ、ペタンク、ソフトバレー、キックベースボール、グラウンドゴルフ等の指導と競技会の開催、その他に町会・自治会対抗のソフトボール、健民祭の運営を行っています。今回は、「太尾走ろう会」の特報をします。

3年前、小学生から高齢者まで、走ることで健康づくりをし、地域活動の活性化を計る目的で、町会、青指、子供会のご協力を得て、70名の参加者で発足式を行いました。自己紹介、抱負等を一人ひとり語るとともに、ゼッケンと名簿を配ることで、顔と名前が一致し、会を重ねるごとに親しみが次第に増しました。

通常の活動として毎月第2日曜日に“走ろう会”を実施しているほか、会報を年2回発行しておりますが、会の発足からの主な歩みは次の通りです。

- 平成7年2月 発足式、参加者70名。広報創刊号発刊。
- 7月 広報2号発刊、登録者100名。
- 11月 区民マラソンで走ろう会指導部小野寺さん(60歳以上男子)・副会長望月さん(30歳以上女子)が優勝。
- 12月 港北駅伝強化練習開始。
- 平成8年1月 第1回懇親会開催、参加者50名。
- 2月 広報3号発刊、登録者150名。7年度皆勤賞受賞者18名。



毎月第2日曜日実施の“走ろう会”

- 6月 走ろう会より結婚1号、須田さん。
- 11月 広報4号発刊、登録者200名。
- 12月 港北駅伝強化練習開始。
- 平成9年1月 第2回懇親会開催、参加者50名。港北駅伝でAチーム優勝、Bチーム10位。
- 2月 走ろう会2周年記念事業ミニ駅伝大会開催。
- 3月 広報5号発刊、登録者220名。8年度皆勤賞・感謝状授与式、受賞者26名。
- 12月 港北駅伝強化練習開始。広報5号発刊、登録者240名。

この中で目立つのは、子供と高齢者の参加が増え、本会の目標である老若男女の幅広い交流、明るい地域づくり、健康増進等が順調に達成されつつあることです。さらに無事故で走行技術も上達し、他の大会にも積極的に参加できるようになり、喜ばしい限りです。

(白井 保)

### 〈篠原地区〉

篠原地区体育指導委員は、菊名南町、富士塚、篠原町、篠原東第一、第二、第三、篠原西町、篠原台町、篠原コーポラス、仲手原、仲手原南の11自治会から選出された17名(男性14名、女性3名)で構成されています。山本会長以下、にぎやかなことが大好きな好青年(?)の集まりです。定例会は毎月第四火曜日。各種の動員も山本会長の「みんな忙しいのはわかっているけど、どうかな。行けるかな。〇〇さん行ってくれるか。ありがとう。ほかはどうかな」という言葉で自然に決まってしまう。



3月のスキー教室にて

地区に小学校が5校、中学校が3校と多く、それぞれが学校や自治会の各種イベントに積極的に参加しているのは言うまでもありません。

年間の大きな事業は以下のとおりです。

- 5月は子供会対抗のユニホック大会。地区を東部と西部に分け、各子供会男女2チームが参加し毎年熱戦がくりひろげられます。決勝戦は東部・西部それぞれの優勝チームで行われ総合優勝が決まります。
- 6月には各自治会対抗のグラウンドゴルフ大会。普段顔を合わせる機会があまりない方々にも和気藹々と一日を過ごしていただきます。
- 9月には篠原地区体育指導委員の一日研修会。家族同伴でアウトドアを楽しみます。
- そして、一年のメインイベントである健民祭は10月に実施されます。一般参加種目から、各自治会の対抗種目合わせて、19種目。文字どおり、幼児からおとしよりの方まで楽しんでいただいています。
- 3月末に2泊3日の親子スキー教室。多くの子供が参加しています。

「何事にも楽しく、積極的に参加しよう」というのがモットーの篠原地区体育指導委員です。今後ともよろしくをお願いします。

(田川 博幸)

# 伊藤暢博会長（港北区体育指導委員協議会）が受賞 体育指導委員功労者表彰《文部大臣賞》

平成9年11月6～7日、熊本県にて開催された全国体育指導委員大会において、伊藤暢博・港北区体育指導委員連絡協議会会長が体育指導委員功労者賞（文部大臣賞）を受賞されました。

この表彰は、5年に一回しか行われておらず（平成7年には全国体指創立20年で例外的に表彰あり）、大変に価値ある表彰となっています。今回、横浜市関係者では横浜市体指会長・磯子区会長の松本良明様、市体指副会長・金沢区会長の松野勝成様も文部大臣賞を受賞されました。

伊藤暢博会長は、東京五輪を翌年に控えた昭和38年に初めて体育指導委員に委嘱されて以来、34年の長きに渡っ

て港北区の地域スポーツ振興に取り組んでこられました。この間に、城郷地区体指会長、区体指副会長としても活躍され、平成元年には区体指会長に就任。現在は市体指副会長も兼ねる等の長年の功績に対し、今年度表彰の運びとなりました。

〔伊藤会長よりのコメント〕

去る11月の全国体育指導委員大会に於いて、全国147名の仲間の一人として文部大臣賞受賞の栄誉に浴し感慨無量です。

私なりの『継続は力なり』とは言え、これまでお力添えをいただいた多くの方々があればこそ為し得た成果と感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。

## アウトドアスポーツ教室を開催 （フリークライミング）

9年11月8日、鶴見区獅子ヶ谷のクライミングジム・ビッグロックにて港北区アウトドアスポーツ教室（フリークライミング教室）が開催されました。

この教室は、7月に実施したカヌー教室に引き続いて、最近注目を集めているアウトドアスポーツを初心者の方に経験してもらうため、港北区体育指導委員連絡協議会及び港北区役所の共催で実施したものです。

今回の指導は、ビッグロックのインストラクターである大岩純一さん、大岩あき子さんをお願いしました。

クライミングは日常的に経験する動作ではないだけに、参加者も苦戦の連続で、命綱に宙吊りになる人、またそのロープを支える人も散見されましたが、次第に真つすぐにそびえ立つウォールを登ってゆくことに楽しさを見だしている様子でした。参加者の方々に、クライミングの“登山口”に立っていただくという目的は果たすことができたようです。



## 長野五輪聖火リレーの警備に参加して

師岡地区会長 仲沢 昭雄

1月21日、待ちに待った長野オリンピックの聖火リレーが冬晴れの神奈川県庁を皮切りに、横浜国際競技場までの13.3キロの道のりを12人の聖火ランナーにより、希望の炎を長野へ向けて高く、また、力強く横浜市内を快走した。

さて、私達体指3人は、横浜

アリーナの中継ポイントから岩崎学園前までの凡そ300メートルを受け持つ事となった。警備体制に入った頃は閑散としていた歩道も、11区を走る女子高校生ランナーが差し掛かる頃になると、聖火を一目見ようと詰めかけた人波で、ランナーの走る妨げにならないかと心配になった。あちこちから「頑張れ」「火を消すな」等の声援や拍手が飛び、聖火ランナーは、私達に手を振りながら、次の中継ポイントへと走り去って行き、何事もなく警備も終了した。裏方として、良い経験をさせて頂きました。

## グラウンドゴルフ大会

3月29日に開催予定

グラウンドゴルフ委員長  
野本 征治

第11回（平成9年度）港北区グラウンドゴルフ大会が来る3月29日（日）樽町公園グラウンドで開催されます。昨年は雨のため中止となり、今年は1年越しの大会ということで待ち望んでいる熱心な地域の皆さんのためにも是非とも開催をと考えております。

慎重に前からこつこつ攻める人、積極的に強振する人、喜びを体全体で表現する人、ニヤリと内に秘める人、それぞれ悲喜こももごでチームの特色でもあります。見ていてチームの雰囲気から地域性が感じられほほえましく

思います。

13地区の交流を深めると共に、コミュニケーションを大切に楽しく盛り上げる大会にしたいと思います。選手の方々の頑張りを期待します。

## 編集後記

年度末ではありますが、広報委員ほか地区の皆様のお陰で広報年3回発行の公約を達成でき、まことに幸甚です。これからは、日に日に明るくまた暖かくなるスポーツの季節。体指の皆様も腕を撫していることでしょうか。ユニークな企画、面白い結果などがありましたら、編集部までお知らせください。